

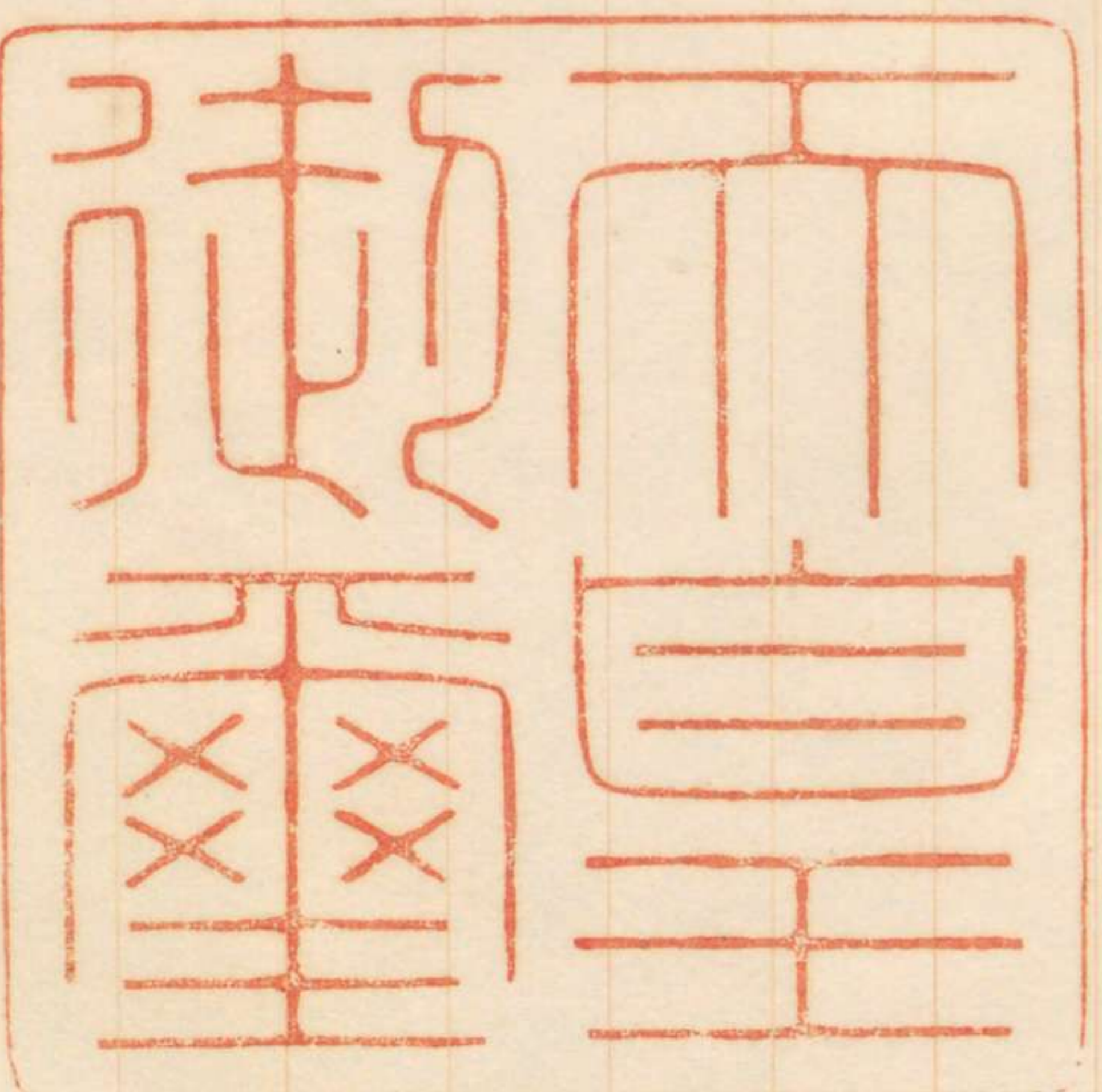
勅令第六号

向



朕海軍給與令ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セ  
シム

睦仁



明治三十七年一月二十一日

日

月

海軍大臣男爵山本權兵衛

勅令第六號  
海軍給與令

第一章 總則

第一條 海軍軍人軍属ノ給與ハ別ニ規定アルモノヲ除クノ外本令ニ依ル軍人軍属以外ノ者ニシテ本令中特ニ定メタル者ノ給與亦同シ

第二條 本令ニ於テ軍人ト稱スルハ現役軍人歸集中ニ非サル生徒學生及召集中ノ豫備役後備役軍人ヲ謂フ

第三條 軍人軍属戦地ニ臨ニ若ハ艦船  
沈没其ノ他ノ場合ニ於テ所在不明ト  
爲リタルトキ又ハ擅ニ職役ヲ離レ若  
ハ他方ニ赴キ故タク歸著ノ期ニ後レ  
タルトキハ本令中特ニ定メタルモノ  
ヲ除クノ外其ノ間本令ニ依ル給與  
ヲ停止ス高等官官等俸給令、技術官俸  
給令及判任官俸給令ニ依ル給與亦同  
シ

第四條 本令ニ依ル給與ハ特ニ支給期

ヲ定メタルモノヲ除クノ外年額ニ在  
リテハ十二分シテ毎月、月額又ハ日額  
ニ在リテハ毎月下旬之ヲ支給ス  
第五條 本令ニ依ル給與ハ之ヲ支給ス  
ルニ當リ計算上錢位未滿ノ端數ヲ生  
スルトキハ之ヲ切捨ツ但シ文官俸給  
ニ關シテハ別ニ定ムル所ニ依ル

第二章 俸給

第一節 軍人俸給

第六條 軍人ニハ第一表ニ依リ俸給ヲ

給ス

第七條 准士官以上待命中ハ俸給十分ノ八、休職中ハ俸給十分ノ六、停職中ハ俸給十分ノ三ヲ給ス

第八條 下士卒ノ俸給ハ定員及練習生ニハ甲額、其ノ他ノ者ニハ乙額ヲ給ス但シ海兵團ニ於テ定員又ハ練習生ニ非スシテ特ニ執務ヲ命セラレタル者ニハ執務中甲額ヲ給スルコトヲ得志願兵入團ノ際傷痍又ハ疾病ノ爲其

ノ採用ヲ取消サレタルトキハ入團ノ日ヨリ退團ノ日迄軍人ニ準シ俸給ヲ給ス

第九條 俸給ハ之ヲ支給スヘキ事由ノ期間一箇月ニ満たサルトキハ總テ日割計算ニ依ル

軍人死亡シタルトキハ前項ノ規定ニ拘ラス當月末日迄ノ俸給ヲ給ス左ノ各號ノ一ニ當ル場合ニ於テ退職恩給又ハ免除恩給ヲ受クヘキ資格ナキト

キ亦同シ

- 一 准士官以上豫備役、後備役、退役又ハ廢官ト爲リタルトキ
- 二 候補生傷痕又ハ疾病ノ爲候補生ヲ免セラレタルトキ
- 三 下士卒豫備役、後備役、免官又ハ免役ト爲リタルトキ但シ徵兵ニシテ入團ノ際傷痕又ハ疾病ノ爲現役ヲ免セラレタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第十條

准士官以上待命、休職、停職、豫備役、後備役、退役免官若ハ廢官ト爲リ又ハ召集ヲ解カレ事務引繼殘務調理ニ従事スルトキハ其ノ事務ノ了リタル日迄仍在職又ハ召集中ノ例ニ依リ俸給ヲ給ス但シ海軍高等武官進級條例第二十條又ハ第二十一條ノ規定ニ依リ進級シタル者ニ在リテハ前官ノ俸給ヲ給ス

第十一條

准士官以上及候補生禁錮ノ

刑ニ處セラレタルトキハ其ノ間俸給十分ノ五ヲ給ス但シ准士官以上停職中ナルトキハ第七條ノ規定ニ依ル

第十二條 下士卒公務ニ原因スルニ非スシテ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ入院若ハ陸地療養ヲ爲ストキ又ハ陸上勤務外宿中公務ニ原因スルニ非スシテ傷疾ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リ欽勤一週日ヲ超ユルトキハ其ノ間左ノ區別ニ從ヒ俸給ヲ給ス

一 故意ニ出ツルトキ 俸給十分ニ

二 自己ノ不攝生ニ原因スルトキ 俸給十分ノ四

三 其ノ他ノ場合 俸給十分ノ八

外國及臺灣ニ於テハ前項第二號及第三號ノ規定ヲ適用セス

第十三條 下士卒留置、收禁、處刑、處罰中又ハ被告事件ノ爲護送中ハ其ノ間俸給十分ノ二ヲ給ス但シ被告事件不起訴、免訴若ハ無罪ニ歸シタルトキ、被告事件繫屬中死亡シタルトキ又ハ戴罪

服務中ハ此ノ限ニ在ラス

第十四條 所在不明ノ軍人所在判明シタルトキハ其ノ不明ト爲リタル原因正當ノ事由アル者ニ限り停止中ノ俸給ヲ給ス

第十五條 准士官以上海軍部内ノ文官ニ任セラレタルトキハ其ノ俸給ハ多額ニ就キ之ヲ給ス

第十六條 軍人外國ニ派遣セラレタルトキ、交通不便ノ地方ニ勤務スルトキ

又ハ艦船ニ乗組ニ航海ヲ爲ストキハ其ノ俸給ヲ家族ニ下渡スコトヲ得

第十七條 艦船乗組ノ軍人三箇月以上航海ヲ爲ストキハ出航ノ際其ノ翌月迄ノ俸給ヲ前金渡スルコトヲ得

第十八條 交通不便ノ地方ニ勤務スル軍人ノ俸給ハ六箇月分以内ニ於テ前金渡スルコトヲ得

### 第二節 文官俸給

第十九條 主理、教授、編修、通譯官、監獄長、



望樓長及望樓手ノ俸給並判任官待遇者ノ俸給ハ第二表ニ依リ之ヲ給ス主理試補軍法會議ノ構成員タルトキハ五百圓以内ノ年俸ヲ給スルコトヲ得

第二十條 文官待遇者ノ俸給支給ノ方法ニ關シテハ文官ノ例ニ依ル

第二十一條 第十四條及第十六條乃至第十八條ノ規定ハ海軍部内ノ文官及文官待遇者ノ俸給ニ之ヲ準用ス

### 第三章 加俸

#### 第一節 在勤加俸

第二十二條 公使館附軍人及軍事視察又ハ學術研究ノ爲外國ニ駐在スル軍人ニハ外國在勤中第三表ニ依リ加俸ヲ給ス

第二十三條 臺灣ニ在勤スル軍人及文官ニハ第四表ニ依リ加俸ヲ給ス

第二十四條 臺灣ニ在勤スル軍人及文官私事ヲ以テ臺灣ヲ離ルルトキ、公務

ニ原因スルニ非スシテ傷痍ヲ受ケ若  
ハ疾病ニ罹リ臺灣以外ニ於テ入院若  
ハ轉地療養ヲ爲ストキ又ハ留置收禁  
處刑處罰中若ハ被告事件ノ爲護送中  
ハ其ノ間前條ノ加俸ヲ停止ス但シ被  
告事件不起訴免訴若ハ無罪ニ歸シタ  
ルトキ被告事件繫属中死亡シタルト  
キ又ハ准士官以上及候補生處罰中勤  
務ニ服スルトキハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 第二十二條ノ加俸ハ六箇

月分以内ニ於テ前金渡スルコトヲ得  
第二十六條 第十條ノ規定ハ本節ノ加  
俸ニ之ヲ準用ス

第二節 航海加俸

第二十七條 在役軍艦ノ乗員ニハ第五  
表又ハ第六表ニ依リ加俸ヲ給ス豫備  
軍艦ノ乗員ニハ定繫港外航海中亦同  
シ  
在役驅逐艦及在役水雷艇ノ乗員ニハ  
定繫港碇泊中第六表ニ依リ加俸ヲ給

ス  
在役駆逐艦、在役水雷艇、豫備駆逐艦及  
豫備水雷艇ノ乗員ニハ定繫港外航海  
中第七表ニ依リ加俸ヲ給ス  
學校、練習所及海兵團所屬練習艦艇ノ  
乗員ニハ定繫港碇泊中ハ臨時他ノ役  
務ニ服スル場合ヲ除クノ外加俸ヲ給  
セス  
練習又ハ實地研究ノ爲艦艇ニ乗組ヲ  
命セラレタル者ニハ加俸ヲ給セス但

シ第一期練習ヲ了リタル候補生ハ此  
ノ限ニ在ラス

第二十八條 未成軍艦、未成駆逐艦、未成  
水雷艇又ハ官用船舶ノ運轉其ノ他ノ  
職務ニ服スル爲乗組ヲ命セラレタル  
軍人及文官ニハ前條第一項ニ準シ加  
俸ヲ給ス

第二十九條 演習ノ際特ニ艦艇乗組ヲ  
命セラレタル指揮官ノ加俸ハ第五表  
及第七表ノ範圍内ニ於テ海軍大臣之

ヲ定ム

第三十條

士官以上他ノ職務ヲ兼スル  
トキハ其ノ加俸ハ多額ニ就キ之ヲ給  
ス

第三十一條

軍人及文官依願休暇及依  
願歸郷中又ハ公務ニ原因スルニ非ス  
シテ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ入院  
又ハ陸地療養ヲ爲ストキハ其ノ間加  
俸ヲ停止ス

臺灣ニ於テ入院又ハ陸地療養ヲ爲ス

トキハ傷痍疾病ノ原因故意ニ出ツル  
場合ヲ除クノ外前項ノ規定ヲ適用セ  
ス

第三十二條

軍人及文官留置收禁處刑  
處罰中又ハ被告事件ノ爲護送中ハ其  
ノ間加俸ヲ停止ス但シ被告事件不起  
訴免訴若ハ無罪ニ歸シタルトキ被告  
事件繫屬中死亡シタルトキ准士官以  
上及候補生處罰中勤務ニ服スルトキ  
又ハ下士卒戴罪服務中ハ此ノ限ニ在

ラス

第三十三條 第十條ノ規定ハ本節ノ加俸ニ之ヲ準用ス

第三節 下士卒特別加俸

第三十四條 左ノ各號ノ一ニ當ル下士卒ニハ各號ニ就キ一日六錢以内ノ加俸ヲ給ス但シ第三號及第四號ニ當ル者同技術ノ證書證狀ヲ併有スル場合ニ於テ加俸ノ額同シキトキハ證書異ナルトキハ多額ニ就キ其ノ一ヲ給ス

一 善行章ヲ有スル者

二 教員ノ職ヲ奉スル者

三 砲術教員適任證書、水雷術教員適任證書、軍樂教員適任證書又ハ機關術教員適任證書ヲ有スル者

四 掌砲證狀、掌水雷證狀、信號證狀、軍樂高等科卒業證書、機關工術專科證書、掌機證狀、水雷工證狀又ハ焚火選手證狀ヲ有スル者

軍艦、驅逐艦、水雷艇及水雷敷設隊ノ備

砲射手ノ部署ニ在リテ射撃ノ成績良好ナル下士卒ニハ一日二十錢以内ノ加俸ヲ給スルコトヲ得

第三十五條 下士卒故意又ハ自己ノ不攝生ニ因リ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ入院若ハ陸地療養ヲ爲ストキ又ハ陸上勤務外宿中故意又ハ自己ノ不攝生ニ因リ傷痍ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ缺勤一週日ヲ超ユルトキハ其ノ間加俸ヲ停止ス

外國及臺灣ニ於テハ傷痍疾病ノ原因故意ニ出ツル場合ヲ除クノ外前項ノ規定ヲ適用セス

第三十六條 第十四條及第三十二條ノ規定ハ本節ノ加俸ニ之ヲ準用ス

#### 第四章 手當

##### 第一節 望樓手當

第三十七條 交通不便ノ地方ニ在ル望樓ニ勤務スル望樓長及望樓手ニハ一箇月六圓以内ノ手當ヲ給スルコトヲ

得

第三十八條 第十八條ノ規定ハ本節ノ  
手當ニ之ヲ準用ス

第二節 宿舍手當

第三十九條 臺灣ニ在勤スル准士官以  
上及軍屬ニ宿舍ヲ貸與セザルトキハ  
第八表ニ依リ手當ヲ給ス

第四十條 第十條ノ規定ハ前條ノ手當  
ニ之ヲ準用ス

第四十一條 下士卒陸上勤務外宿中下

士ニ在リテハ一日五錢、卒ニ在リテハ  
一日三錢ノ手當ヲ給ス

第四十二條 前條ノ手當ハ依願歸郷入  
院、留置、收禁、處刑中又ハ被告事件ノ爲  
護送中ハ其ノ間之ヲ停止ス

第四十三條 監獄看守ニハ土地ノ狀況  
ニ依リ一箇月三圓以内ノ手當ヲ給ス  
ルコトヲ得

第三節 生徒及學生手當

第四十四條 將校生徒及機關生徒ニハ

一日十八錢、學生軍醫學生、藥劑學生、主計學生、造船學生及造兵學生以下同シ謂ニハ一日五十錢、造兵生徒ニハ一日四十二錢ノ手當ヲ給ス

第四十五條 生徒及學生入院ヲ爲スト

キハ其ノ間前條手當ノ三分ノ一ヲ給ス

第四十六條 生徒及學生留置、收禁、處刑

中、被告事件ノ爲護送中又ハ私事ニ因

リ在校セサルトキハ其ノ間第四十四

條ノ手當ヲ停止ス

第四十七條 將校生徒及機關生徒ニハ

入校ノ際被服其ノ他日用品ノ初度手當トシテ七十五圓ヲ給ス

第四十八條 將校生徒及機關生徒天災

其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ被

服其ノ他日用品ヲ亡失シタルトキハ

前條ノ金額以内ニ於テ手當ヲ給スルコトヲ得

第四十九條 品行不良又ハ怠惰ニ因リ

學生又ハ造兵生徒ヲ免シタルトキハ

既ニ給シタル金額ヲ辨償セシム

第五十條 將校生徒及機關生徒ニハ入



校ノ際六箇月分以内ノ手當ヲ前金渡  
スルコトヲ得

第四節 再服役手當

第五十一條 下士卒再服役ニ就キタル  
トキハ其ノ際第九表ニ依リ手當ヲ給  
ス但シ再服役ノ期間一箇年ニ滿タサ  
ルトキハ之ヲ給セス

第五節 労働手當

第五十二條 下士卒潜水ノ事業ニ従事  
スルトキハ一日一圓以内ノ手當ヲ給

スルコトヲ得

第五十三條 下士卒左ノ各號ノ一ニ當  
ルトキハ一日二十五錢以内ノ手當ヲ  
給スルコトヲ得

- 一 艦底、漁罐内部、機関室底部又ハ水  
罐底部ノ掃除ニ従事スルトキ
- 二 艦船ニ於テ石炭積込ノ際石炭庫  
内ノ事業ニ従事スルトキ
- 三 難破船又ハ漂流人ノ救助ニ従事  
スルトキ

四 前各號ニ準スヘキ非常ノ勞働ニ  
從事スルトキ

第五十四條 下士卒熱帶地方其ノ他炎  
熱ノ場所ニ於テ左ノ各號ノ一ニ當ル  
トキハ一日十二錢以内ノ手當ヲ給ス  
ルコトヲ得

一 艦船ニ在リテ釀瀛中機關部ノ事  
業ニ從事シ又ハ厨房ノ事業ニ従  
事スルトキ但シ小蒸瀛艇ニ在リ  
テハ此ノ限ニ在ラス

二 北緯三十度以南ノ陸地ニ於テ釀  
瀛中機關部ノ事業ニ從事スルトキ  
前項ノ手當ヲ給スル期間ハ熱  
帶地方ノ外ニ在リテハ暑期百二十日  
以内トス

第六節 被服手當

第五十五條 新ニ准士官以上ニ任用シ  
又ハ候補生ニ採用シタルトキハ其ノ  
際第十表ニ依リ初任手當ヲ給ス但シ  
准士官ヨリ士官ニ任用シタルトキハ

之ヲ給セス

兵曹長又ハ機関兵曹長ヨリ各其ノ上官ニ進級シタルトキハ第十表初任手當士官ノ額ヲ給ス

第五十六條 准士官以上及候補生艦船ノ破壊又ハ沈没ニ因リ被服ヲ亡失シタルトキハ第十表ニ依リ臨時手當ヲ給スルコトヲ得

第五十七條 下士卒ニハ被服修補手當トシテ一箇月十錢ヲ給ス

第五十八條 前條ノ手當ハ支給定日ニ

於テ入院留置收禁處刑中又ハ被告事件ノ爲護送中ノ者ニハ之ヲ停止ス

第五十九條 監獄看守又ハ警査ニ採用シタルトキハ其ノ際初度手當トシテ二十五圓ヲ給ス

第六十條 監獄看守及警査ニハ被服保續手當トシテ一箇年十圓ヲ給ス

第六十一條 前條ノ手當ハ毎年九月及三月ノ二期ニ分チ之ヲ支給ス

第六十二條 監獄看守及警査職務上避  
クハカヲサル事故ニ因リ被服ヲ破損  
又ハ亡失シタルトキハ臨時手當トシ  
テ二十圓以内ヲ給スルコトヲ得

第七節 支度手當

第六十三條 艦船四箇月以上ノ豫定ヲ  
以テ東經九十度、西經百四十度、南緯三  
十四度、北緯六十度ノ外ニ航海スルト  
キハ該艦船乗組准士官以上、候補生及  
文官ニハ出航ノ際第十一表ニ依リ手

當ヲ給ス艦船出航後該艦船乗組ヲ命  
セラレ赴任スルトキ亦同シ

第一期練習中ノ候補生、前項經緯度内  
ニ在ル歸航中ノ艦船ニ乗組ヲ命セラ  
レタル者又ハ外國旅費規則ニ依リ支  
度料ヲ受ケ出張中艦船乗組ヲ命セラ  
レタル者ニハ前項ノ規定ヲ適用セ  
ス

第六十四條 前條經緯度外出航ノ命ヲ  
受ケタル艦船乗組ノ者ニシテ該艦船事

故ニ依リ出航セサルトキ又ハ出航前  
官ノ都合ニ依リ乗組ヲ免セラレ若ハ  
死亡シタルトキハ手當ノ半額ヲ給ス  
但シ六箇月以内ニ於テ出航スルトキ  
ハ更ニ半額ヲ給ス

第八節 食卓手當

第六十五條 艦船乗組ノ准士官以上候  
補生及文官ニハ第十二表ニ依リ手當  
ヲ給ス

第六十六條 前條ノ手當ハ公務旅行若

ハ私事ニ因リ艦船ニ在ラサルトキ又ハ  
糧食ヲ給スルトキハ具ノ間之ヲ停止ス  
第六十七條 第十條ノ規定ハ本節ノ手  
當ニ之ヲ準用ス

第六十八條 艦船航海ヲ為ストキハ豫  
定日數以内、具ノ他ノ場合ニ於テハ一箇  
月分以内ノ手當ヲ前金渡スルコトヲ得

第五章 扶助金

第六十九條 志願兵ノ家族ニハ扶助金  
一箇月八十五錢ヲ給ス但シ召集中ノ

下士卒ノ家族ニハ之ヲ給セム

第七十條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ  
扶助金ヲ停止ス

一 志願兵歸休ヲ命セラレタルトキ  
ハ其ノ翌月ヨリ

二 志願兵所在不明ト為リタル後又  
ハ擅ニ職役ヲ離レ若ハ他方ニ赴  
キ故トク歸着ノ期ニ後レタル後  
二箇月ヲ過キタルトキハ其ノ翌  
月ヨリ所在判明又ハ復歸ノ前月迄

三 志願兵禁錮ノ刑ニ處セラレタル

トキハ其ノ翌月ヨリ刑期満限ノ  
前月迄

四 志願兵ノ家族所在不明ト為リタ  
ルトキハ其ノ翌月ヨリ所在判明  
ノ前月迄

所在不明ノ志願兵所在判明シタルト  
キハ其ノ不明ト為リタル原因正當ノ  
事由アル場合ニ限り停止中ノ扶助金  
ヲ給ス

第七十一條 扶助金ハ毎年九月及三月ノ二期ニ分テ之ヲ支給ス

第六章 被服

第七十二條 下士卒ニハ第十三表ニ依リ被服物品ヲ交付ス但シ召集中ノ下士卒ニ交付スハキ定數ハ第十三表ノ範圍内ニ於テ海軍大臣之ヲ定ム

第七十三條 嚴寒ノ地方ニ在ル下士卒又ハ同地方ニ航海スル艦船乗組ノ下士卒ニハ防寒服ヲ交付スルコトヲ得

第七十四條 下士卒ニ交付スル被服物品ハ交換期限及交換定數ヲ定メテ之ヲ交換ス具ノ期限及定數ハ海軍大臣之ヲ定ム但シ夏服略帽、麻襟、襟紐、襟飾、帽覆、袴釣、靴、靴下、手袋、折メス紐、紺足袋、正服帽、徽章、臂章、腹巻及防寒服ハ之ヲ還付セシメス

第七十五條 下士卒豫備役、後備役、免官若ハ免役ト為リ又ハ歸休ヲ命セラレタルトキハ被服物品ヲ給ス具ノ定數ハ海軍

大臣之ヲ定ム但シ徵兵ニシテ入團ノ  
際傷痍又ハ疾病ノ爲現役ヲ免セラレ  
タルトキハ之ヲ給セス

第七十六條 下士卒召集ヲ解カレタル  
トキハ適宜被服物品ヲ給スルコトヲ  
得前條但書ノ場合ニ於テ必要アルト  
キ亦同シ

第七十七條 下士卒死亡シタルトキハ  
葬儀ニ必要ナル被服物品ヲ給ス其ノ  
定數ハ海軍大臣之ヲ定ム

第七十八條 記章佩用ノ資格ヲ有スル  
下士卒ニハ其ノ記章ヲ給ス

第七十九條 左ノ各號ノ一ニ當ル場合  
ニ於テ必要アルトキハ適宜被服物品  
ヲ給スルコトヲ得

一 難破船乗組ノ者又ハ漂流人ヲ艦  
船ニ於テ救護スルトキ

二 局外中立ノ際交戦國ノ軍務ニ從  
事スル者ニシテ傷痍ヲ受ケ又ハ  
疾病ニ罹リタル者其ノ他避難者



ヲ艦船ニ於テ救護スルトキ  
三 外國ニ於ケル内亂又ハ事變ノ際  
避難者ヲ艦船ニ於テ救護スルト  
キ

第七章 糧食

第八十條 左ノ各號ノ一ニ當ル者ニハ  
第十四表ノ量額ヲ最上限トシ糧食ヲ  
給ス

一 營舎、學校、練習所及病院ニ屯在又  
ハ宿直スル准士官以上及候補生

二 艦船乗組又ハ公務旅行ニ因ル艦  
船便乗ノ生徒、學生、下士卒及艦營  
傭人

三 營舎、學校、練習所及病院ニ屯在ス  
ル生徒、下士卒及艦營傭人

四 陸上勤務外宿中ノ下士卒

五 臺灣ニ在勤スル准士官以上、候補  
生及軍屬

六 公務ニ原因シ海軍病院入院中ノ  
准士官以上、候補生、軍屬及職工人

支

七 海軍病院入院中ノ生徒、學生、下士  
卒及艦管傭人

八 在監ノ囚人及刑事被告人

九 海軍官衙及艦船ニ於ケル拘禁又  
ハ護送中ノ者

第八十一條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキ

ハ前條ニ準シ糧食ヲ給スルコトヲ得  
一 第六十五條ニ依リ食卓手當ヲ給  
スヘキ者ニ糧食ヲ給スルノ必要

アルトキ

二 海軍大臣ニ於テ演習ノ際職工人  
支具ノ他ノ者ニ糧食ヲ給スルノ  
必要アリト認メタルトキ

三 難破船救助ノ場合ニ於テ旅費ノ  
給與ヲ受ケサル者ニ糧食ヲ給ス  
ルノ必要アルトキ

四 難破船乗組ノ者又ハ漂流人ヲ艦  
船ニ於テ救護スルトキ

五 局外中立ノ際交戦國ノ軍務ニ從

事スル者ニシテ傷病ヲ受ケ又ハ  
疾病ニ罹リタル者其ノ他避難者  
ヲ艦船ニ於テ救護スルトキ  
六 外國ニ於ケル内亂又ハ事變ノ際  
避難者ヲ艦船ニ於テ救護スルト  
キ  
七 海軍大臣ニ於テ海軍病院收瘻中  
ノ外國軍人ニ糧食ヲ給スルノ必  
要アリト認メタルトキ  
八 下士卒海軍病院入院中豫備後、後

備後、免官若ハ免役ト為リ又ハ召  
集ヲ解カレ退院スルコト能ハサ  
ルトキ

第八十二條 糧食ハ第十四表ニ掲クル  
品種又ハ量額ヲ給スルコト能ハサル  
場合ニ於テハ適宜品種又ハ量額ヲ定  
メテ之ヲ給スルコトヲ得

第八十三條 公務旅行又ハ私事ニ因リ  
艦船、營舎、學校、練習所又ハ病院ニ在ラ  
ザル者ニハ糧食ヲ給セス但シ生徒、下

士卒及艦營傭人ニシテ夏季冬季ノ休暇及療養休暇ニ依ル上陸外出中ハ此ノ限ニ在ラズ

第八十四條 陸上勤務外宿中ノ下士卒公務旅行又ハ依願歸郷中ハ糧食ヲ給セズ

第八十五條 傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタル者ニハ其ノ症状ニ應シ糧食ノ幾分ヲ滋養食品ニ換ヘ之ヲ給スルコトヲ得

第八十六條 糧食ヲ給スルニ當リ其ノ口數十人以上ナルトキハ供食總數ノ十分ノ一ニ相當スル量額ヲ減シ減量食數ニ應シ食料ヲ給シ適宜食品ヲ買辦セシムルコトヲ得

第八十七條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキハ糧食ヲ食料ニ換ヘ食數ニ應シ之ヲ給スルコトヲ得

一 營舎又ハ練習所ニ屯在スル准士官以上及候補生各別ニ炊爨スル

トキ

二 生徒、下士卒及艦營傭人ニ夏季冬季ノ休暇及褒賞休暇ヲ與フルトキ

三 現品ヲ以テ糧食ヲ給シ難キトキ  
第八十八條 願ニ依リ艦船便乗又ハ入院治療ヲ許可シタル者、旅費ノ給與ヲ受ケ艦船ニ乗組ミタル者具ノ他自ラ食事ヲ調辦スルコト能ハサル爲特ニ糧食ヲ給スルノ必要アリト海軍大臣

ニ於テ認メタル者ニハ糧食ヲ給スルコトヲ得

前項ニ依リ糧食ヲ給シタルトキハ其ノ食料ヲ補償セシム

第八十九條 第八十六條乃至第八十八條ノ食料ハ前三年度間ノ糧食平均價格ニ依リ海軍大臣之ヲ定ム但シ第八十六條ニ依リ驅逐艦水雷艇ニ於テ給スル食料及第八十七條第三號ニ依リ水雷艇ニ於テ給スル食料ハ平均價格

ノ三割増以内ニ於テ別ニ之ヲ定ムル  
コトヲ得

第九十條 第六十八條ノ規定ハ本章ノ  
食料ニ之ヲ準用ス

第八章 治療

第九十一條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキ  
ハ具ノ治療ニ要スル費用ヲ官費支辨  
トス

- 一 生徒、學生及下士卒茲公務ニ原因  
シ傷痍ヲ受ケ又ハ疾病ニ罹リタ

ル准士官以上、候補生、軍屬及職工  
人夫ヲ海軍病院ニ收瘡シ又ハ所  
在ノ病院若ハ醫師ニ依托シテ治  
瘡スルトキ

二 治療所ノ設備アル艦團具、他各部ニ於テ談  
艦團具、他各部ニ在ル軍人、軍屬及拘禁中ノ常  
人茲公務ニ原因シ傷痍ヲ受ケ又  
ハ疾病ニ罹リタル職工人夫ヲ收  
瘡スルトキ

三 外國又ハ臺灣ニ於テ艦船乗組ノ

軍人軍属ヲ所在ノ病院又ハ醫師  
ニ依托シテ治療スルトキ

四 護送中ノ囚人又ハ刑事被告人ヲ  
所在ノ病院又ハ醫師ニ依托シテ  
治療スルトキ

第九十二條 左ノ各號ノ一ニ當ルトキ

ハ其ノ治療ニ要スル費用ヲ官費支辨  
ト為スコトヲ得

一 難破船乗組ノ者又ハ漂流人ヲ艦  
船ニ收瘡スルトキ

二 局外中立ノ際交戦國ノ軍務ニ從  
事スル者ニシテ傷痍ヲ受ケ又ハ

疾病ニ罹リタル者其ノ他避難者  
ヲ艦船ニ收瘡スルトキ

三 外國ニ於ケル内亂又ハ事變ノ際  
避難者ヲ艦船ニ收瘡スルトキ

四 海軍大臣ニ於テ海軍病院ニ收瘡  
スル外國軍人ノ治療費ヲ官費支  
辨ト為スノ必要アリト認メタ  
ルトキ

五 下士卒豫備役、後備役、免官若ハ免  
役ト為リ又ハ召集ヲ解カレタル  
降傷痍又ハ疾病ノ為歸郷スルコ  
ト能ハサルトキ  
六 傭入地外ニ於テ艦船乗組ノ艦營  
傭人ヲ海軍病院ニ收療シ又ハ所  
在ノ病院若ハ醫師ニ依托シテ治  
療スルトキ

第九十三條 海軍病院又ハ治療所ノ設  
備アル艦團其ノ他各部ニ於テ前二條

ニ該當セサル者ヲ收療シタルトキハ  
其ノ費用ヲ辨償セシム其ノ定額ハ海  
軍大臣之ヲ定ム

第九章 埋葬

第九十四條 生徒、學生若ハ下士卒死亡  
シ又ハ艦船乗組ノ艦營傭人傭入地外  
ニ於テ死亡シタルトキハ生徒、學生及  
下士卒ニ在リテハ二十三圓、卒及艦營  
傭人ニ在リテハ十八圓ヲ最上限トシ  
官費ヲ以テ之ヲ埋葬ス但シ遺族又ハ



故舊ニシテ死體ノ引渡ヲ請フ者アル  
トキハ本條ノ金額以内ヲ給ス  
前項ノ死亡者ニシテ外國若ハ臺灣ニ  
於テ官費ヲ以テ其ノ死體ヲ埋葬スル  
トキ又ハ傳染病ニ罹リタルモノナル  
トキハ前項ノ制限ニ拘ラス特ニ實費  
支辨ト為スコトヲ得

第九十五條 艦船乗組ノ准士官以上候  
補生及文官外國又ハ臺灣航海中死亡シ其  
ノ地ニ於テ死體ヲ埋葬スルノ必要ア

ルトキハ官ニ於テ之ヲ行ヒ其ノ費用  
ヲ實費支辨ト為スコトヲ得

第九十六條 下士卒入院中豫備役後備  
役免官若ハ免役ト為リ又ハ召集ヲ解  
カレ退院前死亡シ死體引取人ナキトキハ第  
九十四條ノ規定ヲ準用ス

附則

第九十七條 本令ハ明治三十七年四月  
一日ヨリ之ヲ施行ス

第九十八條 監獄書記及監獄看守長ニシ

テ本令施行ノ際別ニ辭令書ヲ交付セ  
サル者ハ現ニ受クル俸給額相當ノ等  
級俸ヲ受クルモノトス

第九十九條 本令施行ノ際一日二十錢  
ノ手當ヲ受クル生徒ニハ在校中仍同  
金額ヲ給ス

第一百條 本令施行前徵募セシ志願兵ニ  
歸休ヲ命シタルトキハ其ノ現役満期  
又ハ再服役ニ就キタル月迄扶助金ヲ  
給ス

本令施行ノ際現ニ一箇月一圓七十五  
錢ノ扶助金ヲ受クル志願兵ノ家族ニ  
ハ其ノ現役満期又ハ再服役ニ就キタ  
ル月迄仍同金額ヲ給ス

第一百一條 海軍軍人俸給令外國駐在海  
軍武官手當金規則、臺灣島及澎湖島駐  
在海軍軍人軍属給與規則、海軍生徒學  
生手當金規則、海軍下士卒手當金規則、  
海軍監獄者守海軍警査被服料給與令、  
海軍被服條例、海軍糧食條例、明治二十

三年勅令第十五號、同勅令第百五十號、  
明治二十四年勅令第百三十二號、明治  
二十五年勅令第七十四號、明治二十六  
年勅令第二百七號、明治二十七年勅令  
第七十八號、明治二十八年勅令第五十  
一號、明治二十九年勅令第二十三號、明  
治三十年勅令第五十一號、同勅令第百三十號、同  
勅令第百三十二號、同勅令第三百六十八號、明治  
三十二年勅令第二號、同勅令第三百三  
十七號、及明治三十六年勅令第六號、八

之ヲ廢止ス

内  
陸

第一表 軍人俸給表

|    |      |      |      |     |     |           |
|----|------|------|------|-----|-----|-----------|
| 日給 | 一等下士 |      |      |     | 年俸  | 大將        |
|    | 一級   | 二級   | 三級   | 四級  |     | 中將及少將及相當官 |
| 甲額 | 八十四錢 | 七十錢  | 五十錢  | 四十錢 | 六千圓 |           |
| 乙額 | 五十八錢 | 四十九錢 | 三十一錢 | 二十錢 | 四千圓 |           |
|    |      |      |      |     | 三級  | 三千圓       |
|    |      |      |      |     | 二級  | 二千圓       |
|    |      |      |      |     | 一級  | 一千六百圓     |
|    |      |      |      |     | 二級  | 一千三百圓     |
|    |      |      |      |     | 一級  | 一千圓       |
|    |      |      |      |     | 二級  | 八百圓       |
|    |      |      |      |     | 一級  | 六百圓       |
|    |      |      |      |     | 二級  | 四百圓       |
|    |      |      |      |     | 一級  | 三百圓       |
|    |      |      |      |     | 二級  | 二百圓       |
|    |      |      |      |     | 一級  | 及相當官      |
|    |      |      |      |     | 二級  | 及相當官      |
|    |      |      |      |     | 三級  | 及相當官      |
|    |      |      |      |     | 四級  | 及相當官      |

一、准士官以上及二等下士以上官ノ職務心得ヲ命シテ在トキハ上官ノ最下級俸十分ノ一ヲ増給ス  
二、兵曹長及相當官ニシテ一級俸ヲ受ケ在職五箇年以上ニ至リ特ニ功勞アル者ニハ年俸八百六十四圓ヲ給スルコトヲ得

第二表 文官及判任官待遇者俸給表

| 年俸 |     |     |     |     |    |      |      |      |      | 判任待遇 |       |       |       |       |       |       |       |     |      |      |      |      |      |
|----|-----|-----|-----|-----|----|------|------|------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----|------|------|------|------|------|
| 主級 | 士級  | 十級  | 九級  | 八級  | 七級 | 六級   | 五級   | 四級   | 三級   | 二級   | 一級    | 三千圓   | 主理    | 教授    | 編修    | 通譯官   | 監獄長   | 望樓長 | 望樓手  | 監獄看守 | 警查   |      |      |
|    | 六百元 | 七百元 | 八百圓 | 九百圓 | 千圓 | 千二百圓 | 千四百圓 | 千六百圓 | 千八百圓 | 二千圓  | 二千二百圓 | 二千四百圓 | 二千五百圓 | 二千六百圓 | 二千七百圓 | 二千八百圓 | 二千九百圓 | 三千圓 | 三十一圓 | 三十三圓 | 三十五圓 | 三十七圓 | 三十九圓 |

| 月俸   |      |      |      |     |      |      | 判任待遇 |      |      |     |
|------|------|------|------|-----|------|------|------|------|------|-----|
| 七級   | 六級   | 五級   | 四級   | 三級  | 二級   | 一級   | 望樓長  | 望樓手  | 監獄看守 | 警查  |
| 三十五圓 | 三十三圓 | 三十二圓 | 三十一圓 | 三十圓 | 二十九圓 | 二十八圓 | 四十五圓 | 三十五圓 | 二十五圓 | 十五圓 |

一、教授ニシテ一級俸ヲ受ケ在職五箇年以上ニ至リ功勞アル者ニハ年俸三千圓迄増給スルコトヲ得  
 二、教授ニハ本表定ル所ノ最低額以下ヲ給スルコトヲ得  
 三、監獄長ニシテ一級俸ヲ受ケ在職三箇年以上ニ至リ功勞アル者ニハ年俸二千二百圓迄増給スルコトヲ得  
 四、監獄看守及警査ニシテ一級俸ヲ受ケ在職三箇年以上ニ至リ事務ニ熟練ナル者ニハ月俸三十圓迄増給スルコトヲ得

第三表 外國在勤加俸表

| 公使館<br>附館<br>駐在 | 官     |       | 年額    |
|-----------------|-------|-------|-------|
|                 | 上長官   | 士官    |       |
| 英露米佛            | 六千四百圓 | 五千五百圓 | 獨 奥 伊 |
|                 | 五千九百圓 | 五千二百圓 |       |
| 清 韓             | 二千七百圓 | 二千四百圓 | 清 韓   |
|                 | 二千四百圓 | 二千四百圓 |       |

一、清國公使館附ノ軍人ニシテ特ニ天津勤務ヲ命セラレタル者ニハ年額千二百圓以  
 内ヲ増給スルコトヲ得  
 二、前項ニ揭タル者ヲ除ク外清國及韓國公使館附軍人ニハ年額六百圓以內ヲ増給スルコトヲ得

第四表

臺灣在勤加俸表

| 日額   |      | 中將   | 少將   | 大佐   | 中佐及相當官 | 少佐及相當官 | 大尉及相當官 | 中尉及相當官 | 少尉及相當官 | 兵曹長及相當官 |
|------|------|------|------|------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|
| 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢    |
| 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢    |
| 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢    |
| 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢    |
| 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢    |
| 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢    |
| 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢    |
| 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢    |
| 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢 | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢   | 二圓卒錢    |

一、高等文官ニ本表ノ官等ニ相當スル額ヲ給ス但シ九等ハ少尉及相當官ノ額ニ依ル  
 二、准士官以上及一等下士ニ上官ノ職務心得ヲ命シタルトキハ上官ノ額ヲ給ス

第五表

艦船航海加俸表

| 官別<br>職別     | 日額                 |                    | 額   |
|--------------|--------------------|--------------------|-----|
|              | 本邦<br>沿岸           | 清韓、亞細<br>亞露領沿岸     |     |
| 大將<br>艦隊司令長官 | 二圓五十錢              | 三圓七十五錢             | 十一圓 |
| 艦隊司令長官       | 二圓二十錢              | 三圓三十錢              | 十一圓 |
|              | 北緯四十度以南<br>北緯六十度以北 | 北緯四十度以北<br>北緯六十度以南 |     |
|              | 東經九十度以東<br>西經七十度以西 | 東經九十度以西<br>西經七十度以東 |     |
|              | 南緯三十度以北<br>南緯六十度以南 | 北緯三十度以北<br>北緯六十度以南 |     |
|              | 東經三十度以西<br>西經七十度以東 | 東經三十度以東<br>西經七十度以西 |     |

第五表 艦船航海加俸表

| 官別 | 職別     | 本邦     |        | 沿岸     |        | 清韓亞細   |        | 東經九十度以東 |         | 東經九十度以西 |        |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|--------|---------|---------|---------|--------|
|    |        | 北緯四度以南 | 北緯四度以北 | 北緯三度以南 | 北緯三度以北 | 西經百度以西 | 西經百度以東 | 西經七十度以西 | 西經七十度以東 | 南緯三度以南  | 南緯三度以北 |
| 大將 | 艦隊司令長官 | 二圓五十錢  | 三圓七十五錢 | 七圓五十錢  | 十圓     | 十二圓五十錢 |        |         |         |         |        |
| 中將 | 艦隊司令官  | 二圓二十錢  | 三圓三十錢  | 六圓六十錢  | 八圓八十錢  | 十一圓    |        |         |         |         |        |
| 少將 | 艦隊司令官  | 一圓八十錢  | 二圓七十錢  | 五圓四十錢  | 七圓三十錢  | 九圓     |        |         |         |         |        |
| 大佐 | 艦隊參謀長  | 一圓七十錢  | 二圓五十五錢 | 五圓十錢   | 六圓八十錢  | 八圓五十錢  |        |         |         |         |        |
|    | 艦隊參謀官  | 一圓五十錢  | 二圓二十五錢 | 四圓五十錢  | 六圓     | 七圓五十錢  |        |         |         |         |        |
| 中佐 | 艦隊參謀官  | 一圓二十錢  | 一圓八十錢  | 三圓六十錢  | 四圓八十錢  | 六圓     |        |         |         |         |        |
|    | 艦隊參謀官  | 一圓     | 一圓五十錢  | 三圓     | 四圓     | 五圓     |        |         |         |         |        |
| 少佐 | 艦隊參謀官  | 六十錢    | 九十錢    | 二圓八十錢  | 三圓四十錢  | 四圓二十五錢 |        |         |         |         |        |
|    | 艦隊參謀官  | 五十錢    | 七十五錢   | 一圓五十錢  | 二圓四十錢  | 三圓十五錢  |        |         |         |         |        |
| 大尉 | 艦隊參謀官  | 四十五錢   | 六十八錢   | 一圓三十五錢 | 一圓八十錢  | 二圓二十五錢 |        |         |         |         |        |
|    | 艦隊參謀官  | 四十錢    | 六十錢    | 一圓二十錢  | 一圓六十錢  | 二圓     |        |         |         |         |        |

一、大西洋亞米利加洲沿岸ニ於テハ第五欄ノ額ヲ給ス  
 二、副長ヲ置カサル艦ニ於テ艦長ノ次席將校タル者少佐ナルトキハ副長タル者少佐ニ等シキ額大尉ナルトキハ副長タル者少佐ニ等シキ額ヲ給ス但シ艦長大尉ナルトキハ此ノ限ニ在ラス  
 三、上官ノ職務心得ヲ命セラルタル者ニハ上官ノ額ヲ給ス  
 四、本表各職ニシテ定員表中西官等ニ跨ル場合於テ下級者ヲ以テ補シタルトキハ上級者額ノ上官職務心得ノ者ヲ以テ補  
 五、本表中ノ噸數ハ計畫噸數ヲ謂フ

第六表 艦船航海加俸表

| 官 別     | 日 額      |          | 本邦沿岸  | 清韓、亞細亞露領沿岸 | 額       |         |          |          |
|---------|----------|----------|-------|------------|---------|---------|----------|----------|
|         | 北緯三十四度以南 | 北緯三十四度以北 |       |            | 東經九十度以東 | 東經九十度以西 | 西經百四十度以東 | 西經百四十度以西 |
| 大佐及相當官  | 七十錢      | 一圓五錢     | 二圓十錢  | 二圓八十錢      | 三圓五十錢   | 東經七十度以東 | 東經七十度以西  |          |
| 中佐及相當官  | 五十錢      | 七十五錢     | 一圓五十錢 | 二圓         | 二圓五十錢   | 西經七十度以東 | 西經七十度以西  |          |
| 少佐及相當官  | 四十錢      | 六十錢      | 一圓二十錢 | 一圓六十錢      | 二圓      | 西經七十度以東 | 西經七十度以西  |          |
| 大尉及相當官  | 三十五錢     | 五十三錢     | 一圓五錢  | 一圓四十錢      | 一圓七十五錢  | 西經七十度以東 | 西經七十度以西  |          |
| 中少尉及相當官 | 三十錢      | 四十五錢     | 九十錢   | 一圓二十錢      | 一圓五十錢   | 西經七十度以東 | 西經七十度以西  |          |
| 兵曹長及相當官 | 二十錢      | 三十錢      | 六十錢   | 八十錢        | 一圓      | 西經七十度以東 | 西經七十度以西  |          |
| 候補生及准士官 | 下 士      | 四 錢      | 六 錢   | 八 錢        | 一 圓     | 西經七十度以東 | 西經七十度以西  |          |
| 一 等 卒   | 三 錢      | 五 錢      | 九 錢   | 十二 錢       | 十五 錢    | 西經七十度以東 | 西經七十度以西  |          |
| 二 等 卒   | 二 錢      | 三 錢      | 六 錢   | 八 錢        | 十 錢     | 西經七十度以東 | 西經七十度以西  |          |
| 三 等 卒   | 一 錢      | 二 錢      | 三 錢   | 四 錢        | 五 錢     | 西經七十度以東 | 西經七十度以西  |          |

一、大西洋亞米利加洲沿岸ニ於テハ第五欄ノ額ヲ給ス  
 二、驅逐隊司令タル大佐ニハ一圓二十錢、艇隊司令タル中佐ニハ一圓、少佐ニハ八十五錢、驅逐艦長及艇長タル少佐ニハ六十錢、大尉ニハ四十五錢ノ額ヲ給ス但シ馬公要港ニ於テハ驅逐隊司令タル大佐ニハ一圓八十錢、艇隊司令タル中佐ニハ一圓五十錢、少佐ニハ一圓二十八錢、驅逐艦長及艇長タル少佐ニハ九十錢、大尉ニハ六十八錢ヲ給ス  
 三、准士官以上及一等下士ニ上官ノ職務心得ヲ命ジタルトキハ上官ノ額ヲ給ス  
 四、司令又ハ艦艇長ニシテ定員表中両官等ニ跨ル場合ニ於テ下級者ヲ以テ補シタルトキハ上級者ノ額上官ノ職務心得ノ者ヲ以テ補シタルトキハ下級者ノ額ヲ給ス  
 五、支官ニ本表ノ官等ニ相當スル額ヲ給ス但シ高等官等ハ中少尉及相當官判任官、候補生及准士官ノ額ニ依ル



第七表

驅逐艦及水雷艇航海加俸表

| 官職別     | 本邦沿岸               |                    | 類  |
|---------|--------------------|--------------------|--|
|         | 北緯四度以南<br>北緯三十六度以北 | 北緯四度以北<br>北緯三十六度以南 |  |
| 大佐司令    | 一圓五十錢              | 二圓二十五錢             | 東經九十度以東<br>西經百度以西<br>北緯六十度以南<br>南緯三十四度以北 |
| 中佐司令    | 一圓二十錢              | 一圓八十錢              | 東經九十度以西<br>西經百度以東<br>北緯六十度以北<br>南緯三十四度以南 |
| 少佐司令    | 一圓                 | 一圓五十錢              | 東經九十度以東<br>西經百度以東<br>北緯六十度以西<br>南緯三十四度以南 |
| 中佐相當官   | 八十錢                | 一圓二十錢              | 東經九十度以東<br>西經百度以東<br>北緯六十度以北<br>南緯三十四度以南 |
| 少佐艦艇長   | 七十錢                | 一圓五錢               | 東經九十度以東<br>西經百度以東<br>北緯六十度以西<br>南緯三十四度以南 |
| 大尉艦艇長   | 五十錢                | 七十五錢               | 東經九十度以東<br>西經百度以東<br>北緯六十度以北<br>南緯三十四度以南 |
| 中尉及相當官  | 四十錢                | 六十五錢               | 東經九十度以東<br>西經百度以東<br>北緯六十度以西<br>南緯三十四度以南 |
| 兵曹長及相當官 | 三十錢                | 四十五錢               | 東經九十度以東<br>西經百度以東<br>北緯六十度以北<br>南緯三十四度以南 |
| 候補生及准士官 | 十錢                 | 十五錢                | 東經九十度以東<br>西經百度以東<br>北緯六十度以西<br>南緯三十四度以南 |
| 卒       | 六錢                 | 九錢                 | 東經九十度以東<br>西經百度以東<br>北緯六十度以北<br>南緯三十四度以南 |

一、大西洋亞米利加洲沿岸ニ於テハ第五欄ノ額ヲ給ス  
 二、准士官以上及一等下士ニ上官ノ職務心得ヲ命シタルトキハ上官ノ額ヲ給ス  
 三、司令又ハ艦艇長ニシテ定員表中両官等ニ跨ル場合ニ於テ下級者ヲ以テ補シタルトキハ上級者ノ額、上官ノ職務心得ノ者ヲ以テ補シタルトキハ下級者ノ額ヲ給ス



第八表

宿舍手當表

|    |      |    |      |         |        |                      |             |      |     |
|----|------|----|------|---------|--------|----------------------|-------------|------|-----|
| 日額 | 中將   | 少將 | 大佐   | 中少佐及相當官 | 大尉及相當官 | 中少尉及相當官<br>兵曹長<br>警官 | 准士官<br>判任文官 | 雇員   | 傭人  |
|    | 四十六錢 | 一圓 | 八十三錢 | 七十錢     | 五十錢    | 四十五錢                 | 四十錢         | 二十五錢 | 二十錢 |

一、上官ノ職務心得ヲ命セラレタル者ニハ上官ノ額ヲ給ス  
 二、高等文官ニ本表ノ官等ニ相當スル額ヲ給ス但シ九等ハ中少尉及相當官ノ額ニ依ル



|  |     |        |      |
|--|-----|--------|------|
| 第九表  |     | 再服役手当表 |      |
| 徴兵   | 志願兵 | 第一期    | 第二期  |
| 十圓   | 十五圓 | 二十圓    | 二十五圓 |
| <small>志願兵籍編入ノトキ</small><br>再服役三期以上ノ者ハ每期第三期ノ額ニ依ル |     |        |      |

|        |     |    |     |     |       |      |         |       |        |       |       |
|--------|-----|----|-----|-----|-------|------|---------|-------|--------|-------|-------|
| 第十表    |     |    |     |     | 武装手当表 |      |         |       |        |       |       |
| 将官及相当官 | 上長官 | 士官 | 准士官 | 候補生 | 初任手当  | 臨時手当 | 二百四十圓以内 | 二百圓以内 | 百六十圓以内 | 八十圓以内 | 六十圓以内 |
|        |     |    |     |     | 八十圓   |      |         |       |        |       |       |

第十一表

支度手當表

|        |     |     |         |      |
|--------|-----|-----|---------|------|
| 將官及相當官 | 上長官 | 士官  | 兵曹長及相當官 | 准候   |
| 二百五十圓  | 百圓  | 七十圓 | 三十圓     | 二十五圓 |
|        |     |     |         | 士補官  |

一、艦長タル上長官ニハ五十圓ヲ増給ス  
 二、高等文官ニ等以上ニハ將官及相當官、五等以上ニハ上長官、六等以下ニハ士官、判任文官ニハ候補生准士官ノ額ヲ給ス

第十二表

食卓手當表

|    |    |
|----|----|
| 内日 | 外額 |
| 内國 | 外國 |

第十二表

食卓手當表

|  | 將官室 | 艦隊職員 | 艦長室 | 士官室 | 士官次室 | 准士官室 | 日    |      |
|--|-----|------|-----|-----|------|------|------|------|
|  |     |      |     |     |      |      | 内國   | 外國   |
|  |     |      |     |     |      |      | 六十錢  | 八十錢  |
|  |     |      |     |     |      |      | 五十錢  | 七十錢  |
|  |     |      |     |     |      |      | 四十錢  | 六十錢  |
|  |     |      |     |     |      |      | 三十錢  | 五十錢  |
|  |     |      |     |     |      |      | 二十五錢 | 四十五錢 |

- 一、清韓、亞細亞露領沿岸ニ於テハ内國ノ額ヲ給ス
- 二、上官ノ職務心得ヲ命セラレタル者上官ノ室ニ在ルトキハ其ノ室相當ノ額ヲ給ス
- 三、演習ノ際特ニ衆組ヲ命セラレタル指揮官及幕僚ニハ指揮官將官ナルトキハ將官室、其ノ他ノ場合ニ在リテハ艦長室ノ額ヲ給ス
- 四、艦隊職員旗艦以外ノ艦船ニ在ルトキハ大佐及相當官ハ艦長室其ノ他ハ士官室ノ額ヲ給ス
- 五、將官室ノ設ケナキ軍艦旗艦タル間ハ艦長室ヲ將官室ト看做ス此ノ場合ニ於テ旗艦艦長ニハ將官室ノ額ヲ給ス
- 六、艦長室士官次室ノ設ケナキ艦船ニ在リテハ士官室ノ額ヲ給ス
- 七、官用船舶衆組ノ上官士官、候補生及高等文官ハ士官室、兵曹長及相當官、准士官並判任文官ハ士官室ノ額ヲ給ス
- 八、候補生第一期練習中ハ准士官室ノ額ヲ給ス



第十四表 糧食品種量額表

| 品     | 種 | 一週日量額  |
|-------|---|--------|
| 麵     | 包 | 一貫 匁   |
| 鳥獸魚肉類 |   | 一貫 匁   |
| 穀類    |   | 一貫 四百匁 |
| 乾物野菜類 |   | 一貫 二百匁 |
| 茶焙麥類  |   | 二貫 十一匁 |
| 砂糖    |   | 百六十匁   |
| 醬油酢油類 |   | 五匁     |
| 鹽     |   | 四匁     |
| 凝脂    |   | 三匁     |

一、非常ノ勞働ニ従事セシメタルトキ其ノ他衛生上必要アルトキハ一日火酒六匁以内ヲ給スルコトヲ得



